

営農ウィークリーNEWS

京都乙訓地域茄子立毛品評会

が開催されました

8月7日、京都乙訓地域特産物育成協議会主催による、京都乙訓地域茄子立毛品評会が開催されました。

JA京都中央管内の長岡京市、向日市、大原野、羽束師地域でそれぞれ品評会が開催され、上位入賞圃場7点が出品されました。

- 審査基準
- 1、生育状況【ナスの花付き、果実の着果バランス、葉の状態】
 - 2、樹勢着果【着花状況、葉の状態】
 - 3、肥培管理【施肥、圃場の状態】
 - 4、病害虫管理【病害虫による被害】
 - 5、創意工夫【防除、管理作業等の工夫】

以上の観点から審査され、厳選な審査の結果上位5圃場が選出されました。



JA 京都中央管内の上位入賞者・圃場



第1位

向日支店管内 和田毅 様



第3位

乙訓支店管内 能勢昌哲 様



第4位

乙訓支店管内 岡本博 様



第5位

大原野支店管内 西田誠 様

JA京都中央では、ソルゴー障壁栽培に取組み環境にやさしい農業を実践していますが、それ以外に天敵温存植物として、おくらを栽培したり、黄色LEDを利用し農薬散布回数の軽減に取り組むなど、圃場によって様々な創意工夫があり生産者の方々の日頃の努力が表れておりました。受賞された皆様、おめでとうございます！

—TAC information—

「京おくら通信」



京おくらに関する様々な情報を出荷部会員の皆様にお届けし、生産技術向上出荷量増大を目的に、「京おくら通信」を発行しました。出荷実績や、病害虫情報、肥培管理、市場担当者のコメントなど内容は盛りだくさんです。裏面に、京おくら通信を掲載していますので、是非ご覧ください。次年度へ向けて、新たな生産者も大募集中です！興味のある方は、JAにお問い合わせてください！

1 これまでの実績

6月23日～7月28日（25出荷日）

	出荷袋 (袋)	売上 (円)	平均単価 (円)
M	1,189	148,344	124.8
L	3,044	400,460	131.6
合計	4,233	548,804	129.6

2 今後の管理

1) 肥培管理 月に2回は追肥を行きましょう。

1回の施用量は、1 a 当り 17-0-17 で3～4 k g、14-14-14 で4 k g 程度
肥料が抜けやすい圃場では、やや多めに施用しましょう。

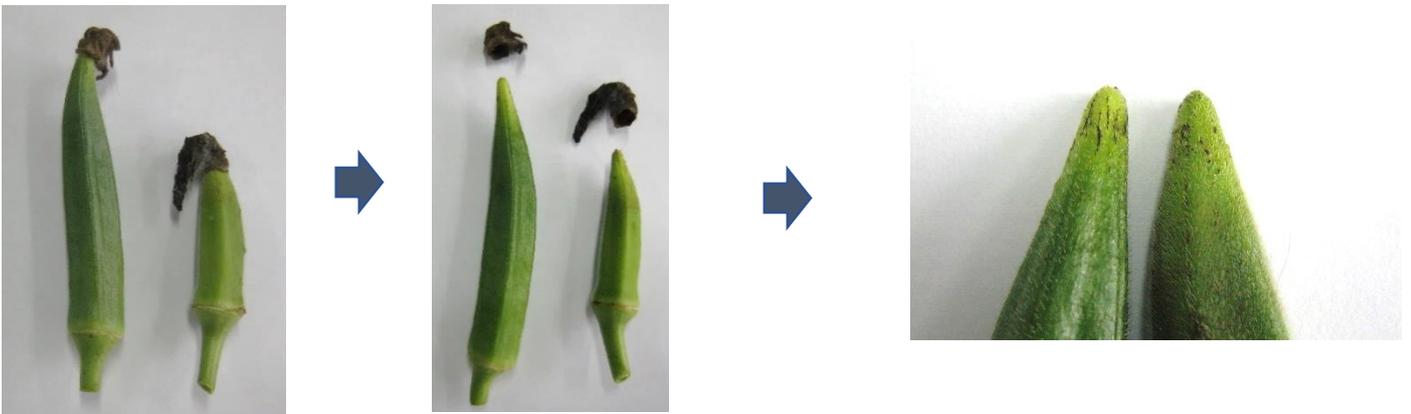
2) 下葉、わき芽の整理 栽培マニュアルに従って、生育に応じた管理をしてください。

3) 病虫害防除

- ・現在、葉をつづるワタノメイガが一部に見られます。見つけたら、捕殺します。
- ・今後、カメムシ、アブラムシ、アザミウマ、オオタバコガなどの被害が増えてくる時期です。ダントツ水溶剤、スタークル顆粒水溶剤、トレボン乳剤等で防除を行ってください。

3 選別は気を抜かずをお願いします —市場からの評価を維持するために—

1) 花落ちが悪いと先白果になります。先白果は1日後に褐色の条が入ってきます。



4 京果 京おくら担当者より

「京おくら」すべり出しは非常に良い。全国的にMサイズが主であるが、京おくらはLサイズが高い傾向があるが問題ない。仲卸の取扱も初めは数店舗であったが、現在増えてきている。規格品の京都府産が大変評判が良い。今後、規格をしっかりと守りブランドを確立してほしい。